

# 議会だより

第57号

2019.8月

発行 / 八幡浜市議会

～令和元年6月定例会号～



～松蔭小学校金管バンド部演奏～



市の考えを問う(5議員が一般質問) .....	P 3
各常任委員長報告 .....	P 9
地域産科医療体制確保求める意見書 .....	P11
八幡浜港フェリー埠頭視察 .....	P12

# 議案等別表決一覧表

令和元年6月定例会（会期：令和元年6月10日～令和元年6月28日）

○：賛成、×：反対、－：退席、欠：欠席  
 （※新宮康史議長は採決に加わっていません）

番 号	件 名 (摘要)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	審議結果
		高橋英	遠藤綾	菊池彰	西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	
報告第1号	債権の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	報 告
報告第2号	専決処分の報告について(八幡浜市市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案承認
報告第3号	専決処分の報告について(八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案承認
報告第4号	専決処分の報告について(八幡浜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案承認
報告第5号	専決処分の報告について(過疎地域自立促進特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案承認
報告第6号	平成30年度八幡浜市一般会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	報 告
報告第7号	平成30年度八幡浜市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	報 告
報告第8号	平成30年度八幡浜市港湾整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	報 告
報告第9号	平成30年度八幡浜市水道事業会計予算繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	報 告
報告第10号	平成30年度市立八幡浜総合病院事業会計予算繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	報 告
同意案第1号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	原案同意
同意案第2号	日土財産区管理委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案同意
議案第1号	八幡浜港フェリー岸壁築造工事(その5)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	字の名称を廃止することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	字の区域を変更することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	八幡浜市離島振興対策実施地域及び半島振興対策実施地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	八幡浜市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	八幡浜市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	八幡浜市森林環境譲与税基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号 ～ 議案第45号	(消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行う議案) 消費税増税等により、使用料、手数料、占用料、採取料等、料金の変更等を行うもの。 * 議案8～45号の議案名等は、市議会HPに掲載しています。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	原案可決
議案第46号	令和元年度八幡浜市一般会計補正予算(第1号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	令和元年度八幡浜市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号	八幡浜市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第2号	安心して出産できる地域産科医療体制の確保を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	原案可決

# 一般質問

## 5人が市政をたずねます！

11人が聞きたい！

今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたずねました。

掲載は質問順で、質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

\*会議録は、市議会ホームページ上（<http://www.city.yawatahama.ehime.jp/sigikai/>）、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館でご覧になることができます。

質問者（質問順）	質問項目	ページ
高橋時英	① 産科医療機関の確保について ② 住宅リフォーム等補助制度について	4
佐々木加代子	① 子ども医療費の助成拡大について ② ごみ出し支援と分別・回収の見直しについて	5
河野裕保	① 道徳教育等について	6
菊池彰	① 道の駅・みなとオアシス八幡浜みなっとの利便性向上と安全対策について ② 大島島内散策の為の環境整備について ③ 合併処理浄化槽整備事業について	7
遠藤綾	① 被ばくリスクを限りなくゼロにするために ② 「子育て応援」の八幡浜市にするために ③ 誰もが自分らしく住み続けられるために	8

### ～ 議会を傍聴しませんか～

次の定例会は9月に開かれます。

傍聴席は八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口には、受付簿を置いていますので、氏名、住所等をご記入のうえ、傍聴してください。

### ～ インターネット配信について～

インターネットで、本会議（開会日、一般質問）の中継録画を配信しております。

八幡浜市議会ホームページからご覧ください。

[こちらからアクセス](#) ⇨



高橋時英議員



# 産科医療機関の確保を！

市長

## 市立病院で再開したい

### 産科医療機関の確保について

**問** 当市の出生数の推移及び産科医療機関の変遷について伺う。

**答** 出生数は、昭和45年が1千400人、昭和55年が650人、平成2年が540人、平成12年が300人、平成22年が230人、直近の平成30年度が160人となっており、平成26年以降は200人を下回る出生数が続いている。

変遷について、昭和60年代から平成の前半にかけて、個人病院の閉院や新規開院を経ながら、市立病院と個人病院2カ所での分娩が可能な状況が継続していた。しかし、平成の前半に個人病院1カ所が分娩取り扱いを停止し、平成24年には市立病院も分娩取り扱いを停止した。その後、個人病院1カ所が地域の産科医療を担っていたが、本年3月末をもって分娩取り扱いを停止したことから、現在市内での分娩ができない状況となっている。

**問** 安心して出産するための取り組みを伺う。

**答** 保健センターでは、妊娠届け出時に妊婦の状況把握に努め、安心して出産が迎えらるよう、相談やアドバイスをを行っている。今後、妊婦や市民の

要望等で有効な対策となるものがあれば検討していきたい。

**問** 産科医療機関の確保について、市の考えを伺う。

**答** 市内で個人の産科医療機関の開院予定がない限り、市立病院で分娩取り扱いを再開するということを強く思っている。

**問** 市立病院での再開に向け、医師等医療スタッフの確保策等を伺う。

**答** 医師の確保が重要であり、今後も関係者とともに大学医局を訪ね、医師派遣依頼の表敬訪問を重ねて、まずは教授との信頼関係をしっかりとした上で、医師の派遣をしてもらうように努めていきたい。



### 住宅リフォーム等補助制度について

**問** 今年度は、5月13日から翌年の2月28日までが申請受付期間で、予算がなくなり次第終了となっている。しかし、初日で予算がなくなり、翌日に来

られた方は受付ができなかったと聞いている。いわゆる早い者勝ちが市民に対して公平な受付方法と言えるかどうか。受付方法についての市の見解、改善策を伺う。

**答** 建設課では、平成26年からの受付状況や年度当初の問い合わせ件数などを確認し、受付を開始したが、今年度は初日で予算を消化するという結果になった。今後、一定の受付期間を設け、抽選等において決定するなど、他市の状況も勘案しながら、制度の見直しを図ってまいりたい。

**問** 今年度の補正予算対応はあるか伺う。

**答** 今後の様子も見ながら検討したい。事業については一定の内需喚起効果があったと判断しているが、財源が市単独費であること、また当初3年間という期限をつけて始めた事業であり、今年度で既に5年が経過したこと、いつまで継続するのが適当か、その都度考えていく必要がある。



佐々木加代子議員



# 子ども医療費無償化に向けた取り組みを

市長

## 県内の状況等を勘案して検討

### 子ども医療費の助成拡大について

**問** 公明党の長年の主張が実り、教育費の無償化がスタートする。0歳から2歳児は住民税非課税世帯を対象に、3歳から5歳児は所得に関係なく全世界を対象に本年10月から無償化される。少子化対策、子育て支援のもう一つの柱である医療費の無償化について、県内での実施状況では、松山市と今治市が来年度より開始することで、残りは南予4市のみとなった。八幡浜市では、1カ月の窓口負担三千円の制度開始から1年が経過したが、この間の件数及び市の負担額を伺う。

**答** 平成30年度の実績で、申請件数864件、助成額420万4千748円となっている。

**問** 子ども医療費については、0歳から2歳の医療費と3歳から就学前までの1カ月2千円を超えた額の2分の1の県の助成があるが、これ以上の助成を受けるための働きかけや要望などはされているのか。

**答** それぞれの市町の財政規模の違いによって子育てに関する施策が変わるといふことは、本当に嘆かわしい。東京23区などは、中学生まで何十年前前から無償化になっている。県の市長会で

も意見を取りまとめて、子ども医療費無償化については全国一律でやるべきであると、愛媛県から四国、四国から国へ責任を持ってやってもらいたいと表明している。

**要望** 県下における小・中学生を対象とした子ども医療費無償化の実施状況・推移の中で、1カ月3千円以上の負担分の助成についても、無償化に向けて一歩一歩近づいていける取り組みを、前向きに検討していくことを要望しておく。



### ごみ出し支援と分別回収の見直しについて

**問** 高齢化に伴いごみ出しが困難になっている方もおられる。環境省は、自治体などが高齢者宅まで出向いてごみの収集を行うごみ出し支援制度の拡充を目指し、今年度からモデル事業を実施する。八幡浜市では、高齢者のごみ出し支援で何かしていることはあるか。

**答** 高齢者等のごみ出し支援を事業と

しては行っていないが、目が不自由でゴミステーションまで持って行けないとの相談を受け、玄関先での個別回収をしているという例外的な事例がある。

**問** 担当課としての今後の取り組みは。

**答** 今後は支援を必要とする対象者の把握に努め、保険センターや社会福祉課等関係部局と連携して、どのような支援が効果的か、環境省のガイドライン等も参考に協議を進めたい。

**問** 燃やさないごみ袋の45ℓ入りも作ってほしいがどうか。

**答** これまで20数年間、30ℓ一種類のみで来ており、結果として不燃ごみの減量化、資源ごみのリサイクル推進にも結び付いていると考える。

**問** 2週間に1度のプラゴミ回収を、1週間に1度の回収にして欲しいとの要望が多数寄せられているがどうか。

**答** プラごみを毎週回収するには多額の費用がかかる。プラスチックごみの問題が広く認識される中で、今後、プラスチックを

使った容器包装が減量されるとの見込みもあり、もう少し動向等を注意していきたい。



河野裕  
保議員



# 道徳教育等について

教育長

## 期待の持てる道徳教育にしていく

**佐久間艇長の遺書を題材にした道徳教育について**

**問** 明治43年4月15日、山口県新湊沖で潜水艇の潜航訓練中の事故により艇長以下総員14名が殉職された。搭乗員全員が、なしうる限りの復旧作業に当たる中で遺書をしたためたのが「佐久間艇長の遺書」だ。この遺書には、集団、命、任務、指揮官としての義務の履行（ノープレス・オブリージュ）、総員14名の復旧行為に対する各国の反応等が書かれており、その時代の背景を学ぶに最適であると考えます。

**答** 小・中学生の道徳の教材として活用する考えはない。ただし、史実であり、伝記的読み物として紹介したり、歴史学習の中で教師の説話として紹介したりする等、児童・生徒の発達段階に応じて取り扱うことは考えられる。



佐久間 勉（さくま つとむ）  
1879. 9. 13生～1910. 4. 15没

**60年間に渡って実施されてきた道徳の時間について**

**問** 平成26年10月の中央教育審議会答申によると、昭和33年に道徳の時間が開始された以降、これまで道徳教育は、学校や児童・生徒の実態に基づき、道徳教育の重点目標を設定し、充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている学校がある一方で、歴史的経緯に影響されるなど、他教科に比べて軽んじられていること、教師等が発達段階等を十分に踏まえ、児童・生徒に望ましいと思われれることを言わせたり、書かせたりするなど、多くの課題を指摘している。本市の義務教育における60年間の道徳の時間は、形骸化したものになっていないか、総括を願いたい。

**答** 当市の場合、形骸化していると捉えていないが、課題がなかったというわけではない。今回教科化されたことで、年間計画に基づく指導の定着が図られている。今まではクラスによって教材を差し替える部分もあったが、それが年間指導計画によって指導ができるようになった。また、学級担任が中心となって授業する中で、今回の教科化によって管理職や副担任が協力して授業する体制が生まれた。また、評価

の在り方についても研究していきたい。令和元年度、2年度において、愛媛県の特徴ある道徳教育推進事業の指定を白浜小学校が受けており、白浜小学校を中心に市内全体で研究を深めたい。

**教育勅語を道徳の教材とする考えについて**

**問** 現柴山昌彦文部科学大臣は、大臣就任の記者会見で教育勅語の認識を問われ、「現代風にアレンジした形で、道徳などで使うことのできる分野は十分あると考える」と答えている。教育勅語はデリケートであるが、道徳教材として大いに活用すればよいと考えます。

**答** 教育基本法に相通じる部分があるかも知れないが、教育勅語は天皇から臣民に示されたものであり、それを現代に採用することはできない。憲法や教育基本法のもと令和の時代にふさわしい道徳教育の創造が求められていると考えている。



菊池

彰議員



# みなつとのさらなる発展を！

市長

## さらに改善、見直しを進めていく

### みなつとの利便性向上と安全対策について

**問** さらなる利便性の向上として、授乳室や子供用の便器が欲しいとの声があるが、早急に取り組む考えはあるか。また電気自動車の普及が進んでいるが、充電ステーションを設置してはどうか。安全対策について、防犯カメラで全体をカバー出来ているのか、安全管理上問題は無いのか伺う。

**答** 授乳室については、要望も多く、検討したことがあるが、スペースの問題で実施に至らず、みなと交流館内の会議室を代用している。備品タイプの授乳設備が間もなく商品化されると聞き、詳細が分かれば検討したい。子供用便器については、1つのトイレブースの中に大人用、子供用を併設している事例もあるので、類似施設を調査したい。充電ステーションについては、南予にある道の駅15中11施設に設置済みである。具体的に検討してみたい。

防犯カメラについては平成28年度に、みなと交流館前に4基設置している。



幡浜みなと6周年

今年度、ドーや市場周辺に2基増設して安全対策の強化を図りたい。

### 大島島内散策の環境整備について

**問** 大島を訪れた際、海岸線には漂着ゴミが、海岸保全施設（道路）には、葦が生い茂り通行の支障になっていた。島民の高齢化率は高く、島民だけで作業するには限界があると思うが、市としてどのような考えがあるのか伺う。

**答** 大島区では、例年、地域一斉の奉仕作業として7月に海岸清掃を、10月ないし11月に道の除草を実施している。しかし、島民の高齢化による奉仕作業参加者の減少等、対応に苦慮しているとの話も聞いている。こうした中、今年度新規に海岸清掃活動を支援する仕組みを創設した。市と大島区による委託契約に基づき、定例の奉仕作業以外に清掃活動をした場合に、処理費用や日当など必要経費を市で負担するものである。業務の中には漂着ゴミの回収や道路などの維持管理も含んでいる。今後、



清掃活動をして頂く機会が増え、環境美化や安全面の向上が図られると期待している。

### 合併処理浄化槽整備事業について

**問** 平成12年から合併処理浄化槽整備事業が始まっている。平成30年度末までの設置基数は何基か。完成まであと何基・完成年度を何年と予定しているのか。また法定検査料や修理費用を使用料で賄っているのか伺う。

**答** 平成30年度末で885基を設置している。1千100基を予定している。あと215基である。近年の整備実績を考えると10年程度はかかる見込みである。浄化法施行規則等で保守点検や清掃業務の内容・基準があり、使用料で維持管理費の回収率は77.5%である。現在の使用料水準が公共下水道に比べて割高であるので、今すぐの値上げは困難と考える。また、今年度から企業会計に移行したので経営の効率化により経費の節減を図り、使用料と維持費のギャップを埋めるように努めるとともに、高齢化や人口減少で、使用実態も少なくなっているため、点検・清掃の基準の見直しも国へ提言していく必要があると考えている。

遠藤

綾議員



# 当市にも障害者の入所型施設を！

市長

## 入所型施設等の整備を検討したい

**被ばくリスクを限りなくゼロにするために**

**問** 原子力規制委員会は、テロ対策の特定重大事故等対処施設建設が期限までに間に合わなければ停止と発表した。市の見解は。

**答** 原子力規制委員会において安全性の確保を最優先に議論し、適正に判断したと考える。四国電力には、原子力発電所のさらなる信頼性の向上に努めてもらいたい。

**問** 市民の被ばくリスクを限りなくゼロにする為に、避難計画等は絶えず見直すべきと考える。変更はあるか。

**答** 住民避難計画は、今年改定予定。簡易な電子線量計の設置で、避難指示をより細分化して出せるようになった。迅速な避難につなげたい。安定ヨウ素剤の事前配布については、市としても、事前配布が望ましいと、原子力規制委員会との意見交換会でも発言しているところ。被ばく低減、市民の安全確保の観点から、引き続き県と協議していきたい。



**「子育て応援」の八幡浜市にするために**

**問** 経済的な理由で就学が困難と認定された児童・生徒に対する、就学援助制度について、認定基準は。

**答** 要保護、準要保護児童・生徒に係る認定基準は、前年度または当該年度において市町村民税が非課税の世帯や、児童扶養手当の受給世帯のほか、世帯の所得金額が、生活保護基準額の1.3倍以下の場合等。

**問** 対象品目について、クラブ活動や体育実技道具購入費など拡充しては。

**答** 県内の他市町の状況を見ると支給していない市町が多い。今のところ支給の予定はない。

**問** 認定者数と率の推移、認定基準の他市町の状況は。子供の貧困化が進む中、1.3倍を1.4倍に上げてはどうか。

**答** 平成26年度200人、9.1%、から、平成30年度236人、11.2%と、児童・生徒が減少する中、要保護及び準要保護児童・生徒数は増加傾向。認定基準は宇和島市1.4倍、大洲市1.0倍、西予市1.3倍。県下の市町は、半数以上が当市と同じ1.3倍。準要保護は国、県の補助がなく、全て市の負担となる。現状上げることが考えていない。

**誰もが自分らしく住み続けられるまちに**

**問** 障害がある方の人数、傾向等は。

**答** 令和元年6月現在、身体障害者手帳所持者1千792人、療育手帳380人、精神障害者保険福祉手帳2536人。重複があるため実人数は2千366人。人口が減る中、全体数は横ばい。60代から80代が3分の2を占める。

**問** 当市は入所型施設がなく、近隣市町に移る方も多い。入所型施設を作ってほしいと要望も強いが、どうか。

**答** 障害を持つ子供の将来に不安を感じることがあることは十分認識している。在宅支援サービスや地域の見守り体制の充実も重要である。今後は、当事者及び家族、団体等から意見を聞きながら、支援者の高齢化を意識した潜在的なニーズと、近隣市町を含む圏域での需給バランスを精査した上で、グループホーム等の入所型施設の整備について検討していきたい。

**問** セクシャルマイノリティ（LGBT）の方の人権保障として、日本各地で同性パートナーシップ制度の導入が進んでいる。当市でも検討したらどうか。

**答** 条例等の必要性について、より広く世論の形成を待って判断したい。



総務産業委員会

都市計画税の課税  
その公平性は



総務産業委員長  
樋田 都

**字の名称を廃止すること、及び字の区域を変更することについて**

**問** 地番整理事業によって所在地の明確化が進んでいると思うが、市民からの反応はどうか。

**答** 今回の事業は八幡浜市の次にすぐ地番がくる土地を対象に整理を行っているが、例えばその対象者の方々には郵便番号が二通り存在していたため、今まで多くの問い合わせが寄せられていた。しかし、今回の整理事業により郵便番号を1つに統一することでそういった戸惑いは解消されていると思う。

**問** 事業の完了年度はいつか。

**答** 現在の予定としては2024年に完了する予定である。

**要望** 松柏地区などの他の地区においても、何通りもの住所表示が存在し、戸惑いの声が寄せられているため、この事業は他の地区においても継続し、

所在地の明確化を進めてほしい。

**八幡浜市農産物加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

**問** 現在の利用状況はどうか。また、今後の課題は何か。

**答** 現在の施設の稼働率としては、約50%である。また、今後の課題としては、この加工施設独自の新たな商品開発、及び会員数の増加や稼働率の上昇につなげるための幅広い周知が課題である。

**シーフードセンター八幡浜の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

**問** 現在の経営状況はどうか。

**答** 30年度の状況としては、売り上げが1千825万円で前年比25%の増であるが、収支については、975万円の赤字であり、軌道に乗っていないのが現状である。

**問** 前年比25%の売り上げが伸びた要因は何か。

**答** ふるさと納税の中に、一夜干しセットを取り入れたことや、JAにしゅうわのジュースとセットでお歳暮商品等を

企画、販売したことが挙げられる。

**問** 農産物加工施設についても同様に、様々な取り組みをされていることは理解できるが、今後も状況が改善されないようであれば、いずれの施設も民間経営に移すことを検討してはどうか。

**答** いずれの施設も十分な設備投資はしてあるが、どうしてもスペースの関係で大量生産はできない。そもそも、これらの施設は商品開発などの試験的な使い方を初期の目的として整備しているため、そういった使い方をしているただく法人会員を含め、民間の参入についても検討していきたい。



**専決処分の報告について（八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）**

**問** 都市計画税の近年の収入状況、及びその使用目的は。

**答** 収入状況については、平成28年度が7千957万9千円、平成29年度が

7千971万9千円、そして平成30年度が7千626万1千円である。また、都市計画税は目的税であり、都市計画事業の費用に充てるものである。

**問** 都市計画税は旧八幡浜市と旧保内町の合併以後も、旧八幡浜市の都市計画区域のみに課税されている。この間、公平性を欠く状態が続いており、見直すべきだと思うがどうか。

**答** この状態が続いていることについては、重要な課題であるという認識は持っているが、財政事情厳しき折、約7千600万円の財源を失うことがネックとなり協議が進んでいない。一方で、旧八幡浜市の中心部においては、このところ都市計画街路の拡幅のほか、駅前広場や八幡浜防災倉庫、千代田町ちゃんぽん駐車場の整備など都市再生整備事業等が増えてきており、目的税としての一定の整合性は保たれているという側面もある。当面は、この状態を継続せざるを得ないと考えるが、引き続き慎重に検討したい。

**指摘** 合併以後14年が経過し、いつまでも旧市町で区別をするべきではない。旧八幡浜市だけの課税は不公平であり、この状態をずっと放置するわけにはいかない。今後も継続して庁内で検討してほしい。

民生文教委員会



民生文教委員長  
河野裕保

介護保険料の減額  
財源と見通しは

八幡浜市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 低所得者に対する介護保険料の減額を行うにあたり、どのくらいの財源が必要となってくるのか。

**答** 総額で約3千万円を見込んでおり、内訳として、国が2分の1の約1千500万円、愛媛県が4分の1の約750万円、当市も4分の1の約750万円となっている。

**問** 介護保険料は下がっても、物価上昇等により、生活が苦しくなっていく中で、介護保険制度というシステムが、このまま続いていくのか、見通しとしてどう思われるのか。

**答** 低所得者に対する介護保険料の減額というのは、平成27年度から行われており、今回の改正によって、減額する対象者の範囲がさらに広がった。今後とも国において、再度の減額措置が検討されているため、低所得者層への介護保険料賦課徴収に関して、ご理解を

いただきたい。また、少しでも介護保険を使用する期間が短くなるように、健康寿命の延伸を目的とした介護予防事業を重点的に取り組む必要があると考えている。

**問** 保健センターで行っている事業は、今後も増加すると予想されるため、将来を見据えた人員の確保と働きやすいスペースの確保を考える必要があるのではないかと。

**答** 業務については、以前と比べて非常に幅広くなってきているため、専門職や事務職等の適正な人員確保を検討していくとともに、できるだけ要介護状態に至らない方を増やしていけるように取り組んでいきたい。また、施設については、地域包括支援センターを1階から3階に移動させる等、スペースの確保を図った部分もあるが、今後老朽化の問題等もあるため、修繕や移転等も含めて検討していきたい。



はつらつ介護予防体操

予算委員会



予算委員長  
西山一規

大島テラス  
利用状況と更なる集客への施策は

離島航路整備事業費補助金について

**問** 補助金の負担割合と、大島テラスの利用状況は、どうなっているのか

**答** この補助金は、平成29年10月から平成30年9月までの1年間の欠損額3千167万円に対しての補助であり、国が1千791万9千円、残りの1千375万1千円を県と市が2分の1ずつ補助している。

大島テラスは、昨年8月にオープンし、今年の5月までの来訪者は、8千825人であり、大島航路の利用者も同時期で4千363人、約22%増加している。

**問** 今後、更なる集客にむけた施策の予定はあるのか。

**答** まずは、大島テラスが、8月に1周年を迎えるので、1周年を記念したイベントを企画しており、テレビ局とタイアップして、サイクリングイベントを7月の末に実施する。また、オープン日の8月11日には、もちまき、魚

釣り体験、大島ならではの食を生かしたイベントなどを、島民・管理運営者と協力しながら実施したいと考えている。

さらに、今後は、清掃ボランティアと観光プログラムを合わせたイベントなどを市としても企画していきたいし、管理運営者にも集客につながる取り組みをぜひやっていただきたいと期待している。



大島テラス

八幡浜庁舎食堂改修工事費について

**説明** 初日の市議会協議会において意見があったことにより、当初予定のウッドデッキ新設は延期する。

**問** 都会では、ウッドデッキやテラスで食事する場所があるので、ウッドデッキを整備し、北浜エリアの賑わい創出を行うという考え方も必要ではないか。

**答** 地域高規格道路（大洲・八幡浜自動車道：郷々大平）の供用開始やフェリーバス整備によって、現在、昭和通を通行している大型貨物車等の動線や通行量が変わり、八幡浜庁舎食堂前の臨港道路を通行する車が増えると思込まれる。そのため、衛生面への影響を考慮したこと及び今後、大型事業も控えていることから、維持管理費の増加を再度勘案し、ウッドデッキについては延期とした。今後、効果的な設置についての先進事例を研究し、北浜エリアと調和したより良い食堂にした

**柑橘スマート農業実証プロジェクト補助金について**

**問** 柑橘スマート農業実証プロジェクトの今後の見通しと、県内のほかの自治体でも行われているのか。

**答** 今後の見通しについては、実証実験をして、実際の柑橘栽培に活用できるのか検証し、その結果を受けてからになると思う。

なお、このプロジェクトは愛媛県内では、西宇和地区だけである。

**要望** AI、ロボット等を使いながら、省力化をはかって労働生産性をアップするために国も力を入れていてる感じがするため、市も農協を通じて国に働きかけていただきたい。

**問** スマート農業に対して、データを集めて前向きにやっつけていきたいといわれるが、ほかにもこういうことを「見える化」していくのか。

**答** 今回は、マルチドリップを利用した形の中で、例えば気象の変化に伴う水分調整など、柑橘栽培に最も適した条件を「見える化」したい。



マル手みかん

※マルチドリップ栽培とは  
みかんの樹冠下にシートを敷き、雨水の流入を防ぐことで糖度を上げるとともに、シートの下に点滴チューブを入れて適度な水分ストレスを保つもの。

**地域産科医療体制  
確保求める意見書の提出**

6月定例市議会最終日、議員提出議案

「安心して出産できる地域産科医療体制の確保を求める意見書の提出について」が、全会一致で採択され、国や県に意見書を提出した。その内容を要約したものをお知らせする。

**意見書** 全国的な産婦人科医師不足の中、本市においても、平成31年3月末に市内で唯一分娩機能を持つ個人病院が取り扱いを停止し、妊娠34週以降は、希望の産科施設を紹介する「セミナー・ブンステム」に移行した。これにより南予北部圏域で分娩を取り扱うのは大洲市の2つの個人病院だけとなった。

これに伴い、出産を予定されている方は、近隣市町の産科医療機関での出産を余儀なくされ、距離的な不安や通院・入院時の不便さ等、苦勞している方も多く、妊娠中の方々やその家族のみならず、子育て世代をはじめ、地域から不安の声が上がっている。

本市としても、個人の産科医療機関の開院予定が無い限りは、市立八幡浜総合病院で分娩取り扱いを再開することに強い思いを持っているが、産婦人科医師は、「24時間対応で忙しい」、「訴

訟リスクが高い」など厳しい労働環境となつている。対策として、報酬面以外にも、「訴訟リスクに対応する仕組み」の構築や、「労働環境」の整備によって、医師の負担を軽減する取り組みを行っているが、産婦人科医師の確保には繋がらず、産科再開の見通しは立っていない。

市立八幡浜総合病院は、南予北部圏域住民の生命と健康を守る、地域医療の中核をなす総合病院として、分娩取扱病院と設定し、産婦人科医師の重点化・集約化を行うことが重要と考えている。

については、誰もがごこの地域でも、安心・安全に出産ができる医療体制の確保の観点から、4つの事項について要望する。

- ① 地域医療に従事する産婦人科医師を確保するための施策を講じること。
- ② 公的病院の診療体制の強化を図るため、集約化への取り組みの支援策を拡充すること。
- ③ 女性医師を始めとする勤務医師の労働環境の改善策を講じること。
- ④ 出産・分娩に係る訴訟リスクへの対応策を講じ、無過失補償制度の充実・拡充を図ること。

# ～新たな海の玄関口建設中～

## 八幡浜港フェリー埠頭を視察



フェリー埠頭（完成予想図）



ターミナルビル（完成予想図）

### 編集後記

いつの間にか、インターネットが当たり前の時代になりました。ニュースを読む、動画を観る、買い物や仲間とのコミュニケーションもインターネットで可能になりました。30年ちょっと前は、一般人が使えるのは文字だけのパソコン通信で、通信速度は現在の300万分の1でした。非常に多くの情報を扱えるようになった今、市議会の議事録や動画はスマホでも閲覧できるようになっています。誰でも情報発信でき、便利になった反面、間違った情報が広まる危険性もあります。私は、報道も含め話題になっていることは、その元となる情報を探そうにしています。すると、印象がかなり違うことも多々あります。情報に踊らされないよう一歩引いた姿勢が大事かと思えます。

西山一規

#### 《議会だより編集委員会》

委員長 西山一規  
副委員長 菊池彰  
委員 高橋時英

遠藤綾  
佐々木加代子  
石崎久次  
樋田都

八幡浜市議会事務局

TEL 22・5998

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会  検索



「やわたはま議会だより」は、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。